

杉浦製陶株式会社様

令和7年8月「事故をなくす安全衛生活動」受講
令和8年1月「作業手順の作成によるノウハウの継承」受講

事業主の声

当社は岐阜県多治見市笠原町に所在し、タイルの製造と販売を行っております。

令和6年より安全衛生委員会を本格的に立ち上げて安全衛生活動に取り組み、令和7年からは5S活動を開始し、職場環境の改善に努めてまいりました。

こうした取組をさらに前進させ、労働災害ゼロの職場づくりを実現するため、ポリテクセンター岐阜の生産性向上支援訓練「**事故をなくす安全衛生活動**」を受講しました。危険予知（KY）活動やヒヤリ・ハット、リスクアセスメントの進め方、5S活動や点検による管理など実践的な内容を学ぶことができ、受講後は各職場で安全衛生管理の意識向上と5S活動の見直しにつながりました。

また、当社では作業のノウハウが担当者に属人化しやすく、後進育成や均質な生産、労働安全衛生の観点からも作業の標準化やマニュアルの整備が急務となっていました。そこで「**作業手順の作成によるノウハウの継承**」を受講し、マニュアル作成の考え方や具体的な手順、業務の洗い出しから作業分解、フロー図やチェックリスト形式での書式化まで、体系的に学ぶことができました。

現在は訓練で得た知識を活かし各部署でマニュアルの作成に着手しており、主要業務のマニュアル化を進め、全社で共有・運用していくことを目指しております。今後も安全衛生活動と作業の標準化を両輪として、職場環境の改善と労働災害ゼロの実現に向けて取り組んでまいります。

訓練の様子

受講者の声

「**事故をなくす安全衛生活動**」では、「日々の業務の中で危険箇所を意識しながら行っていきたいと思った」、「5Sの意識と行動内容を再認識することができ、部署内で目指すべき姿の共有化や、そのために必要なことの洗い出しに取り組みたい」といった声が聞かれ、危険予知訓練や5S、リスクアセスメントについて理解を深めることができたとの感想が多く寄せられました。

「**作業手順の作成によるノウハウの継承**」では、「まず何をすべきかが具体的になった」「皆で話し合い、業務の標準化を図りたい」、「フロー図の意味を理解でき、マニュアルに活用したい」「マニュアルの使い方に気づけた」、「図や写真、フロー図を使い、見やすいマニュアルを作成したい」など、学んだ内容を実際の業務に落とし込みたいという前向きな声が多数ありました。

また、「現状のマニュアルを見直し、生きたマニュアルの必要性を感じた」との感想もあり、新規作成にとどまらず既存マニュアルの見直しにも意識が向くきっかけとなり、順次整備を行っています。



具体的な成果



代表取締役 林 航 氏

「**事故をなくす安全衛生活動**」の受講を機に、各職場で危険予知（KY）活動やヒヤリ・ハット報告への意識が高まり、5S活動についても改めて目指すべき姿を部署内で共有し、実行に移す動きが生まれています。

「**作業手順の作成によるノウハウの継承**」の受講後は、各部署において自部署の業務の洗い出しと作業分解に着手し、フロー図やチェックリスト形式を用いたマニュアルの作成を順次進めています。これにより業務の属人化の解消と標準化が進み、後進育成や品質の均質化、労働災害の未然防止にもつながることが期待されます。今後も主要業務のマニュアル化を計画的に進め、全社的な運用を目指してまいります。